

会 議 録

平成 29 年度 第 2 回宮古島市総合教育会議	
日 時	平成 30 年 2 月 28 日 (水) 14 時 00 分 開会
場 所	平良庁舎 3 階庁議室
出席構成員名	市長 下地敏彦 教育長 宮國 博 教育長職務代理者 佐和田貴美子 委員 野原敏之 委員 池間雅昭 委員 中尾忠笹
欠席構成員名	—
オブザーバー	教育部長 仲宗根均 生涯学習部長 川満広紀
説 明 員	—
事 務 局 員	企画調整課長 久貝順一 企画調整課課長補佐兼係長 上地俊暢 企画調整課主任主事 新垣良二 企画調整課主任主事 本村一平
欠席事務局員	—

調整・協議事項	件 名	結 果
選任事項	議事録署名人の選任について	宮國教育長 中尾委員
調整・協議事項	(1) 第 2 次宮古島市教育大綱 (案) について	

備 考		
-----	--	--

会 議 録

事務局 (企画調整課)	議事録署名人の選任を行います。議事録署名人に教育長と中尾委員の2名に議事録署名人をお願いしたいと思います。
事務局 (企画調整課)	それでは、本日の調整・協議事項に入りたいと思います。本日は、第1回の総合教育会議に引き続き、第2次宮古島市教育大綱(案)について協議を行います。 進行については、宮古島市総合教育会議設置要綱に基づき、市長が議長となりますので、ここからの進行は市長をお願いいたします。
議長(市長)	それでは協議に入ります。第1回の会議において修正、意見等が出ましたので、それに基づき修正等を加えた第2次宮古島市教育大綱(案)を提示しています。その内容について事務局より説明をお願いします。
事務局 (企画調整課)	<u>※資料1及び参考資料1の大綱案を読み上げて説明</u>
議長(市長)	2月5日の第1回総合教育会議のご意見を踏まえた形での提案となります。意見があればお願いします。
教育長	教育大綱の策定趣旨ですが、その中の学校教育においてはの部分において、2行に別れて求められるが続いていますので、まとめる必要があるのではないかと考えています。文案を用意しましたので読み上げます。 「学校教育においては、学力向上への取り組み、増加傾向にある過小規模校への対応及び平成30年度から実施される幼稚園教育要領に示される10の姿、平成32年度からの小学校、平成33年度からの中学校で全面実施される学習指導要領に基づく外国語教育・国際理解教育・ICT教育等への的確な対応とさらなる充実が求められている。」としたいと考えていますがいかがですか。
議長(市長)	お話しているのは、フレーズの求められるが2つとも続いているので、そこを整理するという形で一つにまとめたという形ですね。 10の姿というのはどういう意味ですか。

教育長	幼稚園教育要領というのは、5つの領域、10の姿というのがあります。就学前に身につけておくべき子ども達の形です。これが幼稚園教育要領の中に示されております。5つの領域というのは、健康、人間関係、環境、言葉、表現となります。それから10の姿というのは、健康な心と体、自立心、共同性、道徳性・規範意識の芽生え等の10の項目があり、これが幼稚園教育要領に示されております。
議長（市長）	例えば、10の姿との表現を、幼稚園教育要領に示される目指すべき方向としてはいかがですか。
全委員	はい。
議長（市長）	それでは、10の姿を目指すべき方向として改めて、その他は教育長の提案の文章とします。 他に意見はありませんか。
中尾委員	（2）学校教育、①義務教育の（ア）から（カ）までありますが、今お話があった策定の趣旨の部分ですが、学校教育においては、外国語教育、国際理解教育、ICT教育として3つ学習指導要領に示されているものがあります。趣旨から紐付けていくと、義務教育の中にICT教育という文言が一切出てこないものですから、（エ）の後にICT教育のことも入れた方が良いのではないかと思います。（エ）の部分では外国後教育と国際性豊かな人材を育成すると、2つは出ていますが、ICT教育の文言がありませんので、入れてほしいと思います。
議長（市長）	修正案の策定の趣旨の中では入れていますね。入れた方が良くと思います。それでは、（オ）「ICT教育の充実を推進します。」として良いですか。
全委員	はい。
佐和田委員	義務教育の（オ）の保育所と幼稚園との間に認定こども園を入れた方が良くと思います。
教育長	宮古島には保育所、認定こども園、幼稚園の流れが必要だと思います。
議長（市長）	わかりました。

佐和田委員	もう一つですが、(1) 幼児教育の(オ)の所に、保育所と認定こども園の間に幼稚園を入れる必要があると思います。
中尾委員	会議前の話しの中に、保育園、認定こども園、小学校と書いてありますが、そこに幼稚園を入れた方が良いと思いましたが、今見てみるとここは幼稚園の事を言っているのです。
教育長	幼児教育の(オ)の中にも幼稚園を入れた方が良いという話しですよ。
事務局 (企画調整課)	今のお話しですと、中尾委員のお話は、(1)の幼児教育については、幼稚園が主体となっているので、幼稚園は記載しなくても良いのではないかとのご意見かと思えます。
中尾委員	ここの幼児教育は幼稚園のことを言っているのです、幼稚園が、保育所、認定こども園、小学校と連携しているという表現になりますので、あえてここで幼稚園という表現を入れなくても良いのかなと思えます。その次の学校教育に関しては、小中の話しですので、やはり全部入れるべきかと思えます。
議長(市長)	そのとおりですね。他に意見はありますか。
中尾委員	細かい文言ですが、大綱の策定趣旨の1行目の少子高齢化の「少」が小さいになっていますので、ここは直していただきたい。あと、教育長の方から修正が入ったので大丈夫かと思えますが、大綱策定の趣旨の学校教育においてはからのICT教育への充実とありますが、これは「へ」は削除すべきかと思えます。
議長(市長)	これは教育長提案にて全面修正となります。
中尾委員	全面修正となれば問題無いと思えます。後2つありますが、ルールが少し解りませんが、数字の半角と全角の統一はどの様になっているのかなと感じています。年度というのは全部半角になっているのですが、それぞれ個別の4年間等については、全て全角になっています。新旧対照表ではバラバラになっているので、どちらかに統一した方が良いと思えます。
議長(市長)	これは統一します。
中尾委員	あと、共通認識で確認しておきたいことがあります、認定こども園の「こども」という表示がひらがなの漢字なのか。子だけ漢字なのかですね。これはひらがなの漢字かと思えます。新旧対照表ではこどもの「子」が漢字になっ

	<p>ていますので、この辺は共通認識を持っておいた方が良いと思います。</p>
教育長	<p>家庭教育の充実の中の（ア）ですが、学校と家庭の連携を図り、家庭での学習支援を推進する。となっていますが、地域での学習支援とはありますが、家庭での学習支援とはどういう風に表現したら良いですか。充実というような表現かと思いますが。</p>
野原委員	<p>参考までにですが、今、学校で課題になっているのは、子ども達が自分で学習しないということなんですよ。家庭学習をしないということなので、そういう意味での学校が家庭での学習ができるような支援をするということを指しているのかと思います。本来は、教育長がお話するように学習の充実と思います。学校の中にはそういう課題があります。</p>
教育長	<p>学校が宿題を出します。親が宿題を見ます。これは支援になりますか。これは家庭学習の充実になると思います。</p>
野原委員	<p>これを支援か充実かという文言の関係かと思いますが、充実が正しいと思います。</p>
中尾委員	<p>これは、表題に書いてある（家庭教育の充実）とおおり、学校と家庭の連携を図り、家庭での学習教育の充実を推進する。が良いのではないですか。家庭教育の充実を推進するでも良いと思います。</p>
議長（市長）	<p>家庭での学習を支援する。にしますか。</p>
議長（市長）	<p>学校が家庭での学習を推進するのですか。</p>
中尾委員 佐和田委員 野原委員	<p>家庭教育の充実を推進するが良いかと思います。</p>
池間委員	<p>家庭教育の充実がダブってしまいますね。</p>
中尾委員	<p>学校と家庭が連携することが一番の目的かと思います。ということは、逆に、学校と家庭の連携を推進するが良いのではないですか。家庭での学習を充実す</p>

	<p>るために、学校と家庭の連携を推進するんですね。学校と家庭の連携を図るでも良いと思います。</p>
議長（市長）	<p>ひっくり返すという意味ですね。</p>
中尾委員	<p>そうです。</p>
議長（市長）	<p>例えば、家庭での学習支援を推進するため、学校と家庭の連携を図る。という風に入れ替えるということですね。タイトルが家庭教育の充実なので、その方が良くもかもしれません。いかがですか。</p>
全委員	<p>はい。その方が良いです。</p>
議長（市長）	<p>それではそのようにします。他にありませんか。</p>
議長（市長）	<p>特に無いようですので、確認いたします。</p> <p>大綱策定の趣旨の部分の学校教育については、提案された中身は、「学校教育においては、学力向上への取り組み、増加傾向にある過小規模校への対応及び平成 30 年度から実施される幼稚園教育要領に示される目指すべき方向、平成 32 年度からの小学校、平成 33 年度からの中学校で全面実施される学習指導要領に基づく外国語教育・国際理解教育・ICT 教育等の的確な対応とさらなる充実が求められている。」との形です。</p> <p>さらに、幼児教育の中の（オ）ですが、認定こども園の「こ」を漢字に改める。そして、義務教育の（エ）の後に新たに（オ）として、ICT 教育の充実を推進する。を挿入する。また、現在の（オ）が（カ）になって、保育所の後に認定こども園を入れること。</p> <p>家庭教育の充実が、家庭での学習支援を推進するため、学校と家庭の連携を図る。という風に改める。</p> <p>他にありませんがこれでよろしいですか。</p>
事務局 （企画調整課）	<p>1点確認ですが、認定こども園の「こ」が漢字かひらがなかというところですが、教育ビジョンにおきましては「こども」として全てひらがなとなっています。</p>
議長（市長）	<p>文部科学省はどうですか。</p>
事務局 （企画調整課）	<p>ひらがなです。事務局で再度確認して修正します。</p>

議長（市長）	<p>それと、半角の問題、横並びがずれているものもありますからそこら辺も直して頂きたいと思います。</p> <p>それでは、今回修正のありました件については採用するという事で、教育大綱を定めてよろしいですか。</p>
全委員	<p>はい。</p>
議長（市長）	<p>ありがとうございます。それではそのように事務局で整理をしていただきます。本日はお疲れ様でした。</p>